

今度、ソロでデビューするんだ。

そんな言葉で始まった、今回の座談会。テーマは、一人ぼっち
一人ぼっちの魅力は？

自分が好きな時に、好きなことができる

お金の使い道が自由

時間の使い方が自由

寂しくない

寂しさを感じない

そんなものは忘れた

などがあげられます

最後の方は、なんだかやけくそですね。

ええ、それでは座談会の様子をご覧ください。

三つ豆など食べながら、三人のソロたちが、話し合いを始めたようです

あのさー、ぼく実は、三人グループなんだけど。一人が話し始めます。

でも、今回三人それぞれがソロで活動することになって一

あ、知ってる。

と、横にいたもう一人が言った。

それで今回ここにきてるんですね。

もう片方の隣にいた男が言った。

そうなんだ。

今まで三人で活動してきたから、正直、どうしていいかわからなくて

そもそも、なんでソロ活動しようと思ったんですか。と、どちらかの隣が言った。

三人の意見が合わなかったんだ。

ほう。と二人

いや、三人の意見が合わなかったんじゃない。正確にいうと、二人の意見は合ってた。俺と、もう一人。そしてあとの一人の意見がどうしても合わなくてね。

じゃあ、もう意見が合った二人でやればいいことじゃないの。別にソロでやる必要はないんじゃない？

いや。だめなんだ。なぜなら、二人の意見は、三人でやることだったから。そして、もうひとりの意見は、二人と一人でやることだったから。

なるほど。だから、どちらでもない結果になったのか。

そうなんだ。と男は肩を落とした。

ところで君はどうなんだい。

私がこの回に参加したのはね、じつは私は双子なんだけども

へえと横の二人がつぶやいた。

これが、写真。よく似てるけど、どこか違うでしょう。

ほんとだ。どこって言えないけど、どこか違う。そっくりだけど。

そう。その違いを見て欲しくて、ソロで活動してみることにしたんだ。

双子の心境ってやつか。

でも、それでは余計トツポにはまるってことに気づいた。

どうして？

隣にいれば、この写真のように、見比べられる。だけど、一人でいると、記憶の中のもう一人と

見比べるしかないから、精度がものすごく低い。もっと間違えられる。知らない人に話しかけら

れてばかりだ。

間違えられたらどうするの？

もう無視するしかないじゃない。

それって、自分に返ってこない？

そう。結局は、相手の評判が落ちるってことは、自分の評判も落ちるってこと。世間は私たちの見分けがついてないんだから。

きついね、双子って。

でもさ、離れて暮らせば勝手に変わってくるでしょ。そしたら違いも際立ってくるんじゃないのそれを狙っているんだけどね。

ところで君は？

今まで相槌をうつだけだった男がしゃべりだした。

私は今まで、合唱団に所属していたのです。ですが、今年からは、一人で歌うようになりました。

なんでまた。

私はハーモニーを重ねることが好きでした。音と音とがぴったり重なる瞬間。それが身の震えるほど好きだったんです。

それじゃ、これからできなくなるじゃない。いいの？

はい。いいんです。もう、それができなくなりました。

どうして？

わかりません。前はできたことが、だんだんできなくなってくるのです。前は、もう一つの歌声を聞いて、それにだんだん寄せて行って、ぴったりとつけることができたんです。それができなくなりました。だからこれからは、一人で歌っていこうと思います。

一人なら、自分が歌う音程がメロディーになりますから。

それでいいのかい？

はい。それでいいのです。

じゃあ、ソロ三人組のみなさん、そろそろお願いしまーす

遠くの方から声が聞こえた。

じゃ、そろそろ行きますか。

そうですね。

三人は同じチェックのシャツと、同じ緑のスカートと、同じロングブーツを履いて、ギターを持ち、立ち上がった。

【2016-12-16】指さし小説 第9話

<http://p.booklog.jp/book/111927>

今回のテーマは、「ソロ」でしたー。カタカナが来たのでびっくりしましたが、偶然つい最近動画で見っていたアイドルグループが、しきりにソロアルバムを出して〜と話をしていたので、この話のタネになりました。他にも最近の色々な出来事を元にして、この作品ができあがりました。一人が好きなんだけど、寂しがりやという人、意外と多いと思います。自分もその中の一人なのですが。

著者：かっこ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/resipi77/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/111927>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト